

絵本「さんびきのやぎのがらがらどん」 の世界を楽しもう

保育所 3歳児

【活動日】 10月～12月

ねらい

○ 絵本の世界に興味をもち、表現することを楽しむ。

活動内容

- ① 絵本「三びきのやぎのがらがらどん」の読み聞かせをする。



- ② お面や、やぎの家、トロルの家、橋、谷川などのセットを部屋に作り、自由に役になって遊ぶ。



- ③ 衣装を身につけたり、セリフをつけたりして、他のクラスのお友だちに見てもらう。



- ④ 生活発表会でおうちの人に披露する。



園児の様子

- ① 繰り返しのある簡単なお話の絵本をいくつか読んだ。子どもたちに人気があり、何度も読んでほしいとリクエストが多かった絵本が「三匹のやぎのがらがらどん」だった。
- ② 「だれだ！俺の橋をガタゴトさせるのは！」「山に草を食べに行くところ」など、絵本の中のセリフを喜んで真似をし、やぎになって歩いたり、橋を渡ったりして遊ぶ。
- ③ 発表会の演目にしようと、みんなで決める。
- ④ 歌ったり、踊ったり、何度も役を変えながらいろいろな役を経験する中で、一番のお気に入り役で演じたい役が決まる。
- ⑤ いろいろな役を経験したことで、自分の決まった役だけでなく、友だちのセリフもみんな覚えて、忘れてたり、動きが止まってしまう友だちに教えてあげたり、一緒にしたりする。
- ⑥ 発表会の練習という感じではなく、毎日、やりたくてやっていて、「ああ、楽しかった」と、つぶやきも聞かれた。

指導のポイント

- 絵本の中の言葉や場面を忠実に再現するのではなく、子どもたちから出てきた表現を尊重し、ストーリーの中に落とし込んでいくことで、展開し、盛り上がりを見せた。
- 役になりきるポイントとしては、歌やメロディーなど音源を聞いて声の質や動きを感じ、イメージがもてるようにした。

資料

『三びきのやぎのがらがらどん』ノルウェーの昔話

(マーシャ・ブラウン／絵 せたていじ／訳 福音館書店)